

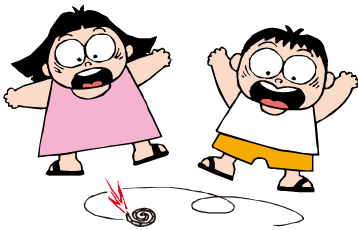


がんばれ! 子育て日記

“火遊び”が好きな子ども



子どもは“花火”や“火遊び”が大好きです。最近ではたばこを吸う人も減り、ガス器具も自動着火が普通なので、「マッチ」や「ライター」が珍しいものとなりました。また、学年が上がると、「理科の実験」でいろいろな金属を燃やして炎の色を観察する実験もありますから、余計、火遊びに関心をしめす子どもが増えるようです。



“火遊びのスリル”は、経験者ならよく知っているでしょう。

ですので、もし、“お子さんが「マッチ」や「ライター」「花火」などを隠し持っていたり、火遊びに対して異常な関心を持っていて何か間違いを起こすのではないかと心配されているようなら、頭ごなしに叱るのではなく、「なぜ火遊びがしたいのか」をきちんと話し合い、危険ではない状況で親と一緒に火を扱うことができるとよいですね。

実は、ある種の“心の病気”から生じる問題行動として、火遊びや放火などが挙げられていることも事実なので、もし、お子さんが火遊びに異常な関心をしめし、何か間違いを起こすのではないかとこのような行動がある場合は、一度、お子さんの「人間関係」や「生活面」をしっかり見つめてみましょう。

- 友人や先生との関係はどうでしょうか？
- 食事や睡眠などの日常生活に変化はありませんか？
- ご両親とのコミュニケーションはしっかり取れていますか？



「今まで子どものことをよくわかっていなかった…」とお感じになられるようなら、まずそこから見直すようにしてみましょう。



もし、日常生活ではなかなか心を開いて話す機会を作ることが難しいようなら、お子さんと“アウトドア”に出かけてみるのもよいでしょう。お子さんとご両親の三人だけ、もしくはお父さん（もしくはお母さん）と二人だけで行くことをお勧めします。自然の中で思いっきり遊び、いろいろお手伝いさせることで、きっとお子さんの中に新しい何かが生まれると思います。

また、日常生活でも、ご両親がお子さんと遊ぶ時間をしっかり取ってあげられたらより望ましいですね。例えば、キャッチボールやプラモデルを作ったり、愛読書を話題に話し合ったりできるとよいでしょう。

それでも危険な火遊びが改善されない場合、もしくは、その他の問題行動が合併してご両親だけでは対応が困難なケースの場合は、お近くの「教育相談所」または「精神科医」に相談してみましょう。



「クイズを解く前に答えを見ちゃだめよ〜」